

第2回難民支援と国際理解教育フォーラム

会場アンケート集計結果

日本 UNHCR 協会

※ 2006年11月23日開催 参加者数 218 名／アンケート回答者数 82 名

Q.1 このフォーラムがあることを最初に知ったのは何からでしたか？

新聞	テレビ	ラジオ	ホームページ	メールニュース	雑誌	家族や知人	その他(*)
3	0	0	14	15	0	19	31

(*)横浜フェスタのブースで、大学・高校の掲示板等

Q.2 このフォーラム全体についてのご感想をお聞かせください。

非常によかった	まあよかった	普通	あまりよくない	よくない
45	28	6	0	0

Q.3 その理由をお書きください。

よかった	全体的に	知らなかった知識・活動を知ることができ今後自分がどのように行動していくべきかの助けになった 等	20
		自分がこれからどう学んでいくべきか深く考えようと思った	16
		難民のグエンさんの話が聞いて良かった	6
	感想文コンクール	子どもたちが難民のことを自分たちなりに考えていることから、私たち大人は恥ずかしく感じた 等	5
	パネルディスカッション	話された方の専門や立場が様々で、多様な話を聞いた教育の必要性を再認識できた 等	5

◆先生方・各種団体の皆様にうかがいます。

Q.4 難民問題を教えたことがありますか？

ある→22	ない→9
-------	------

Q.5 Q.4で「1.ある」と答えた方にうかがいます。どのような内容ですか？(複数回答可)

難民・UNHCR の活動を知識として	体験学習(難民の疑似体験等)	その他(*)
14	1	9

(*)難民の生の声・会う機会／体験学習／難民キャンプにいったことのある人の話

Q.6 難民問題を教えていただく際、何が不足していますか？／何があるとよいですか？(複数回答可)

教材・資料	現地の写真	映像(ビデオ等動画)	ワークシート	その他
9	12	15	10	4

Q.7 先生方・各種団体のリーダー様向けの「難民問題の一日ワークショップ」についてどう思いますか？

参加したい	参加しない	どんなものか知らないが参加してみたい
15	1	11

<希望の実施時期>

夏休みごろ	春休み	何回か実施して選択できる
8	1	1

Q.8 『ほんのすこしの勇気から』を教材として取り上げていただく場合

1) どんな場面で可能だと思いますか？

授 業	総合学習→12	社会科→5	道徳→8	その他→2(*1)
その他	地域の活動→2	その他→4(*2)		

(*1)文化祭、生徒会ボランティア、

(*2)ガールスカウト集会／教会の講演／学童保育

2) どんな内容が可能だと思いますか？

朗読会→7	感想文の作成→15	その他→6(*)
-------	-----------	----------

(*)ワークショップ／ディスカッション／人形劇／UNHCR 職員による講演会

3) 何が必要ですか？

ワークシート→9	その他→1
----------	-------

(*)オレアちゃんの社会的背景がわかる資料

Q.9 今後の活動に対するご要望

- ・ 日本全国に難民問題に関する教育を広げて欲しい。
- ・ 小中学生を対象にした活動をして欲しい。
- ・ 親子で参加できるワークショップ。
- ・ 実際に難民の方々と接触するワークショップを開いて欲しい。
- ・ このようなイベントをもっと開いて欲しい。

以上